



同窓会の紋章

# 双々上

題字・石山荷心さん（山城14回）

2025年2月28日

19号



## ちとき 「地の刻」

そもそも高校では美術ではなく書道を選択しており、美術鑑賞などにもほとんど関心がありませんでした。

つまりは中学美術の授業を受けた程度で、芸大受験の為の研究所で学んだのが、美術家を夢見た出発点となります。受験のデッサンは、目の前のモチーフをしっかり観察して、まるで写真のように描く事が正解とされていました。

その流れからか、芸大入学後は、何の抵抗もなく現実的な作品を描いていました。そんな時、模造紙サイズで「地面」の課題が出たのです。寒い秋から冬でした。

自宅近くの神社の境内に場所を決め、小さい折り畳みの携帯椅子に腰かけ、行儀良く描く準備をしたものの、「どうしたらいいのか、わからない!」のです。ひと風吹けば落ち葉が舞い散り、地面の様子がどんどん変わっていってしまう…。定期的に大学の先生に見てもらっても、全く相手にされず、真面目に取り組んでいるのに、答えが見つからず、ズタズタに打ちのめされる毎日。沁みる寒さと焦りの中、私の気持ちは頂点に達するのです。気がつけば、地面に四つんばいになっていました。冷たい風の流れを頬に感じ、風の音や落ち葉の

かさつく音、木々のざわめきを聴き、手に直接触れた土の温度や匂い、踏みこんだり、蹴ったり叩いたり…。地球の奥深くマグマにまで魂が通ったように思えました。地面と一体化したと感じた時、やっと何かわかった気がしました。その結果、先生にもようやく合格点をもらえました。

きれい事ではなかなか得られない宇宙観を体得する事ができたともいえる、私の制作の原点となった経験です。

それからの私の制作は「地面」が中心となり、より深く向き合ってきました。感覚的でありつつも、哲学が生まれ、自身の中で消化したものが、色や形を通して表現される心地良さが楽しいです。これからも、色んなものに触発され、イメージが膨らんでいくのを面白がりながら、自由に制作していきたいと思っています。（河合美佳）

### ■河合美佳（かわい みか）さん

山城36回卒。1965年、京都市生まれ。京都市立芸術大学大学院 美術研究科 美術専攻 日本画 修了。日展所属。日春展会友。京都日本画家協会会員。京都市立芸術大学美術教育研究会会員。「絵画教室 カワイ」主宰。

## 知恵のある人財に

京三中・山城高同窓会会長

堀場 厚



山城高校同窓会の皆様におかれましてはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

今年2025年は大阪・関西万国博覧会の年です。関西が世界中から注目を浴びる機会となり、今まで以上に京都にも多くの観光客が訪れる年になるでしょう。

私は昨年も頻繁に海外を訪れましたが、外国の方々との会話から気がついたことは、近年日本が最も行きたい国の一つになっているということだと思います。少し残念ではありますが、円安の影響が大きくな要因の一つと言えます。観光

客は、自国よりも手頃な価格で品質の良いものを手に入れることができるため、日本が非常に満足度の高い国になっているのです。

美味しい食事や観光を楽しみ、欲しいものを費用対効果が高い価格で入手できるのは素晴らしいことですが、そのような表面的な部分だけでなく、日本の文化が正しく理解され、国自体の評価が高まることを心から願っています。

一方、世界に目を向けると、アジアや中東の国々、例えば私が10月に訪れたサウジアラビアでは、教育や未来への積極的な投資が盛んに実施されています。我々は欧米諸国に目を向けがちですが、大きく成長しつつある発展途上国からも学ぶべき多くの点があることを忘れてはいけません。

私たちは山城高校で文武両道のバランスの良い教育を受けることができ、大変恵まれた環境で育ちました。是非、次の世代の皆さんも豊かな知識だけでなく、「知恵のある人財」に育って欲しいと

思います。また我が母校、山城高校には、生徒一人ひとりの個性を活かしながら創造力や人間力を強化する教育を継続いただきたく、卒業生も一丸となって協力していきましょう。

会員の皆様のご多幸、ご発展を祈念して、ご挨拶とさせていただきます。

## 百年を超えて進化し続ける伝統校「京都府立山城高等学校」 スクールポリシーの具現化に向けて

校長 藤浦和之



京三中・山城高同窓会の皆様には、御健勝で御活躍のこととお喜

び申し上げます。

日頃は、本校の教育活動に深い御理解と温かい御支援を賜り厚くお礼申し上げます。

本校は、「質の高い文武両道」を掲げ、学習はもちろん山城祭などの学校行事に意欲的に取り組むとともに、9割以上の生徒が部活動に加入して積極的に活動しています。そして昨年度の卒業生は国公立大学に現役で過去最高の117名が合格するなど進路実績も着実に向上しています。

また、今年度から校内に「ワールドワイドパイオニア育成プロジェクト」を立ち上げ、これまで行ってきた国際交流に係る取組をさらに進化させながら、グローバル社会でリーダーとして活躍できる人材の育成を目指しています。今年度はドイツの姉妹校交流としての派遣事業が実現し、8月に11名の生徒がドイツを訪れました。またシンガポールのイーシュンセカンダリースクールや台湾の国立彰化女子高級中学の訪問を受けるなど、一層の充

実を図っています。

また水泳部、弓道部、ダンス部が全国大会に出場、また女子テニス部が近畿公立大会で優勝するなど、多くの部活動ですばらしい成果をあげてくれています。さらに野球部が選抜高校野球大会の21世紀枠で近畿地区の候補校に選出され、表彰されました。このことは野球部の日頃の努力はもちろん、これまでの本校の伝統や歴史、様々な取組など、学校全体を評価していただいたものであり、大変嬉しく思っています。

今後も教職員が一丸となって、スクールポリシーの具現化に向けて取り組んで参ります。山城高校の伝統、文化をしっかりと受け継ぎ、新しい時代に向け、さらに発展させていく所存です。なお、スクールポリシーは本校及び京都府教育委員会のホームページに掲載していますので、ぜひ御覧ください。

結びに、京三中・山城高同窓会の益々の御発展と皆様の御多幸、御健勝を祈念申し上げますと

もに、これからも本校への御支援、御協力をどうぞよろしくお願ひいたします。

### 各界で活躍する同窓生

## 市民ランナー

### まだまだ走る

森井 勇 磨

(山城61回卒)



4月15日に行われたボストンマラソンで、日本選手最上位の8位になり、新聞各紙に取り上げられました。地道に続けてきて良かったと、嬉しく、誇らしく思いました。

小学5年の冬に大文字駅伝を走りたいと思ったことが、陸上競技(長距離)を始めたきっかけです。中学時代は鳴かず飛ばずでし

たが、山城高で野々口直良先生に師事を仰いで実力を磨き、箱根駅伝に出たいとの思いから山梨学院大に進学しました。2012年、13年と全日本大学駅伝に出場、14年には箱根駅伝(10区)を走りました。

卒業後は実業団チームを経て、22年からは、京都陸協所属の市民ランナーとして、単独で練習しています。

23年から24年にかけて「京都4大公認レース」＝舞鶴赤れんがハーフマラソン、福知山マラソン、亀岡ハーフマラソン、京都マラソンⅡを全制覇、京都マラソンは2時間14分15秒の大会新記録での優勝で、その功績でボストンに招待されました。

ボストンでは、パリ五輪代表の大迫傑選手を32キロ付近で振り切り、有名な心臓破りの丘も、原谷の坂での練習の成果を生かして乗り切って、日本選手トップでゴール。



ボストンマラソンのゴール



京都マラソン表彰式

タイムは自己最高の2時間9分59秒でした。

現在、ボランティアで山城高の現役陸上部員を見守り、練習メニューの提供もしています。いずれは指導者として若いランナーを育てたいと思っています。

(聞き書き、編集担当)

■森井勇磨(もりい ゆうま)さん

1990年、京都市生まれ。山城高―山梨学院大卒。実業団を経て市民ランナーに。京都陸協所属。

# 500歳野球古豪躍動!

林 富彦  
(山城28回卒)



500歳野球というものを存じでしょうか。これは、1979年に秋田県で始まったシニア野球大会の総称で、出場資格が50歳以上で、かつ出場メンバー9名の合計年齢が500歳以上でなければならぬというルールのもと、試合が行われます。今では「親父たちの甲子園」などと呼ばれ、独自のローカルルールが設定され、全国各地で大会が行われています。京都府では、1988年から開始され、高等学校の各野球部OBによる対抗戦という形式で開催されています。(現在加盟チームは30チーム)

我が山城OBチームは、第1回大会から「京三中山城クラブ」

として参加し、春季大会優勝4回、準優勝2回、3位4回という成績を残しており、平安、京都商業、東山、大谷、花園など私学強豪がひしめく中、公立高校の雄として、常に上位に名を連ねています。

秋季大会は2009年に開始され、歴史が浅いのですが、我がチームは21年、23年に準優勝しています。そして迎えた24年秋季大会は、順調に接戦をものにし、決勝に進出しましたが、東宇治OBチームに3対4で敗れ、3度目の準優勝に終わりました。

私は、17年前に入部させていただき、憧れの先輩や、かわいい後輩達と同じグラウンドでプレーできる喜びを感じて頑張っています。



準優勝メンバー



表彰式

## 「甲子園」へあと一步

す。3年前に監督を拝命し、今日に至ります。健康に心がけ、体が動く限りグラウンドに立ちたいと思っています。

野球部顧問 相原 佳典

硬式野球部は、令和6年度秋季京都府高等学校野球大会において42年ぶりに準決勝へ進出し、第4位となりました。さらに、令和7年3月に開催される第97回選抜高等学校野球大会の21世紀枠近畿地区候補校に選出されました。残念ながら、1月24日に行われた出場校の選考委員会では補欠校となりましたが、山城高校のプレートがボードに掛けられる映像が全国へと配信されました。

出場校の選考は、硬式野球部の戦績だけでなく、硬式野球部が積み重ねてきた夏の選手権予選への皆勤出場という伝統、さらに、現在の山城高校生の活躍とともに、多くの卒業生の方々が築き上げてこられた伝統校としての歴史、社会での活躍など、過去から現在に至る、学校の活動全てが評価されたものでもあります。諸先輩方への感謝の気持ちを忘れず、受け継いだ伝統を誇りに、今後とも努力を積み重ね、良い結果を報告できるような活動していきたいと思



# 「ジャズを学んだ私から皆様へ」

～ 第37回山城高校21世紀塾 ～

谷 殿 明 良 (山城54回卒)



今回、「山城高校21世紀塾」の講師を務めさせていただく機会をいただき、その当日を迎えるまで緊張しながら準備を進めてまいりました。最近のどんな演奏活動よりも緊張していたかもしれませぬ。お話しした

のは、高校生の時に吹奏楽部でトランペットを吹いていた私がどのようにしてアメリカの音楽大学に留学するに至ったか、その紆余曲折。そしてなんとか実現できた留学生活での経験談。それからジャズというものがどんな音楽なのかということ、トランペットの実演を少しだけ交えて、ご紹介させていただきました。

講演を聴いてくれた高校1年生というのは、高校卒業後に何をやりたいか、どんな大学で何を勉強したいか、ということが自分の中ではっきりと決まっている生徒もいるかもしれませんが、ほとんどの生徒はまだ決まっていないの

ではないかと思えます。私自身もその頃は、音楽を将来専門的にやりたいと思ってはおりませんでした。「夢を持ちなさい」とか留学を勧めるとか、そういったことを言うつもりは全くありません。今回の私の話が、この時期の生徒たちにこれからの自分について考える際の小さなヒントになっていければ嬉しいです。

久しぶりに訪れた山城高校は、私の現役だった頃とは校舎も制服も新しく変わってしまったので、なんだか知らない学校のように緊張しましたが、生徒たちや先生方から醸し出される良い雰囲気は当時の山城高校と変わらず、懐かしい気持ちになりました。今回はこのような光栄な機会をありがとうございました。



講演の様 (11月21日)

## ■ 谷殿明良 (たにどの あきら) さん

1983年7月18日生まれ。京都出身。中学校入学時に吹奏楽部に入学しトランペットを始め、高校在学時には同級生等とジャマイカ音楽であるスカ・バンドを結成し地元のライブハウスにて活動し始める。高校3年時にボストンのバークリー音楽院より奨学金を受け卒業後渡米。バークリーではジャズトランペットの演奏法、及び作曲、編曲を勉強し2006年卒業。その後1年間ニューヨークで修行したのち帰国。

2007年10月より東京を拠点に、ジャズを中心に幅広いジャンルでの演奏活動、レコーディング等を行っている。スウィングジャーナル誌「第60回日本ジャズメン読者人気投票」トランペット部門10位。タイガー大越氏、ハル・クルツク氏、ジョン・スワナ氏、宮村聡氏、野間裕史氏に師事。

自身のプロジェクトとしては、ストリートアヘッドなジャズのサウンドを軸としつつ谷殿オリジナル曲を演奏する「谷殿明良 Quintet」、ジャズと室内楽や民族音楽を融合させた「谷殿明良 Chamber Jazz Ensemble」、同世代の16人の素晴らしい音楽家を集めた「谷殿明良 Big Band」を率いて活動している。

# ドイツ派遣事業を引率して



教諭 大橋 早苗

普通科3名、文理総合科8名の計11名で、2018年以来6年ぶりの訪問が叶いました。8月半ば、夏真っ盛りの季節に、乗り継ぎも含めほぼまる一日かけて、デュッセルドルフ空港に降り立ちました。空港ではフィルダーベンデンの生徒や先生方に待ちかねたように大歓迎されたことで、これまで山城高校の諸先輩方が築いてこられた交流の絆を再認識することができました。

デュイスブルク市内観光でドイツ人の歩く速さと距離についていけずクタクタになり、ライン川クルーズで持ち前のコミュ力を生かして現地の人たちに飲み物をおごってもらい、ケルン大聖堂の大きさと荘厳さに圧倒され、ユースホステルの地下にあるコインランドリーの使い方がわからず夜な夜な仲間と相談し、モンレアールの古城の城壁に登って風に吹かれながら大自然を堪能してから、旅程5日目にしていよいよホストファミリー宅に滞在、ギムナジウムフィルダーベンデンでの学校生活が始まります。

ギムナジウムでは、生徒たちはドイツの多様さを肌で感じていたようでした。英語は話せて当たり前、母語のドイツ語以外にもスペイン語、フランス語、ポルトガル語などを1人で使いこなす人がたくさんいる。持っているルーツも人それぞれで、色んな人間が当たり前共存している。実際にそういう環境に身を置くことで、生徒たちの視野がぐっと広がったように思います。

いよいよ帰国する日、生徒たちはホストファミリーやドイツの先生、生徒たちと抱き合って涙を流し、なかなかバスに乗り込めませんでした。みんなでライン川沿いを歩いているときにも、「ここからパスポートを投げたてしまいたい、そうすれば日本に帰らなくて済む！」(引率者としては本当にやめて欲しい)とまで言っていました。すべてのことが高校生活真っ只中の生徒たちにとって、大人になってもずっとずっと心に深く刻まれるであろう経験でした。このような機会を与えてくださり、同窓生のみなさまの、日頃からの御理解と御支援に心から感謝しています。



## 同窓会からお知らせとお願い

### ■ 2024(令和6)年度理事総会

2024(令和6)年度の京三中・山城高同窓会年度理事総会は、6月2日(日)、からすま京都ホテル「瑞雲の間」にて開催。会長、校長のあいさつに続き、令和5年度の事業報告、会計報告・会計監査報告、6年度事業計画が承認されました。

続く懇親会では、最年長(三中37回)の一色逸雄さまにごあいさついただき、3月に卒業したばかり(山城76回)の新年度理事2名を紹介しました。

### ■ 同窓会ホームページ

同窓会ホームページ(<https://yamashirokou-dou.sakura.ne.jp>)では、理事会からの報告のほか、学年やクラブの同窓会、OB、OG会の便りも紹介しています。ぜひご覧ください。

# ◆部活動成績

※令和6年12月3日現在

令和6年度、近畿大会・全国大会に出場した部活動を紹介します。(○)近畿大会、●全国大会

## 【バドミントン部】

ポンプンの部

近畿高校総合文化祭に京都府推薦 出場

## 【弓道部】

第77回 近畿高等学校弓道大会 出場

男子の部 3年6組 山沖 和雅(やまおき かずまさ)

女子の部 2年3組 森本 光咲(もりもと みさき)

## 【競技かるた部】

第19回全国競技かるた兵庫大会

C級の部 優勝

2年4組 日榮 里菜(ひさかえ りな)

3年9組 柿崎 愛香(かきざき あいこ)

●小倉百人一首競技かるた第46回全国高等学校選手権大会個人戦

個人戦C級

準優勝 2年4組 岩本 優花(いわもと ゆうか)

個人戦D級

第3位 2年3組 西村 伊織(にしむら いおり)

個人戦D級

第3位 2年7組 長岡 初音(ながおか はつね)

○令和6年度近畿高等学校総合文化祭福井大会

小倉百人一首かるた部門 出場

第7位 2年4組 日榮 里菜(ひさかえ りな)

## 【テニス部】

○2024 関西ジュニアテニス選手権大会 出場

1年6組 松岡 明里(まつおか あかり)

○令和6年度近畿高等学校テニス大会 女子シングルス 出場

2年6組 内海 紗希(うつみ さき)

## 【水泳部】

●第92回日本高等学校選手権水泳競技大会

女子100m平泳ぎ

8位 2年4組 小島 由衣(こじま ゆい)

女子100m平泳ぎ

出場 3年2組 山川 愛梨(やまかわ あいり)

女子4×100mメドレーリレー 出場

3年2組 井上 璃子(いのうえ りこ)

3年2組 山川 愛梨(やまかわ あいり)

2年3組 橋口 真胡(はしぐち まこ)

2年3組 松村 小凜(まつむら こりん)

女子4×100mフリーリレー 出場

2年3組 橋口 真胡(はしぐち まこ)

2年3組 松村 小凜(まつむら こりん)

3年2組 山川 愛梨(やまかわ あいり)

2年4組 小島 由衣(こじま ゆい)

男子4×200mフリーリレー 出場

3年5組 瀧内 海音(たきうち かいと)

2年3組 大八木 俊輔(おおやぎ しゅんすけ)

1年7組 溝井 琉叶(みぞい るか)

3年7組 清水 瑠夏(しみず るか)

●国民スポーツ大会SAGAアクア2024

200m平泳ぎ 出場

2年4組 小島 由衣(こじま ゆい)

●ジャパンオープン2024

200m平泳ぎ 出場

2年4組 小島 由衣(こじま ゆい)

○第78回近畿高等学校選手権水泳競技大会

女子4×200mフリーリレー 出場

2年3組 松村 小凜(まつむら こりん)

3年2組 山川 愛梨(やまかわ あいり)

2年5組 片田 結良(かただ ゆら)

2年4組 小島 由衣(こじま ゆい)

男子4×100mフリーリレー 出場

3年5組 瀧内 海音(たきうち かいと)

2年3組 大八木 俊輔(おおやぎ しゅんすけ)

3年9組 飯田 璃空(いいた りく)

3年5組 竹岡 柊(たけおか しゅう)

男子4×100mメドレーリレー 出場

2年5組 國定 海杜(くにさだ かいと)

3年5組 大橋 伊織(おおはし いおり)

3年2組 桑宮 啄磨(くわみや たくま)

3年5組 竹岡 柊(たけおか しゅう)

100m、200m平泳ぎ 出場

2年4組 小島 由衣(こじま ゆい)

100m、200m平泳ぎ 出場

3年2組 山川 愛梨(やまかわ あいり)

100m、200m背泳ぎ 出場

3年2組 井上 璃子(いのうえ りこ)

400m個人メドレー 出場

2年3組 松村 小凜(まつむら こりん)

100m、200m平泳ぎ 出場

3年8組 山口 楓汰(やまぐち ふうた)

50m自由形、100mバタフライ 出場

2年3組 橋口 真胡(はしぐち まこ)

100m、200m平泳ぎ 出場

3年5組 大橋 伊織(おおはし いおり)

100m、200m平泳ぎ 出場

2年4組 藤井 咲也子(ふじい さやこ)

200m自由形、200m個人メドレー 出場

2年3組 大八木 俊輔(おおやぎ しゅんすけ)

100m、200m背泳ぎ 出場

2年5組 片田 結良(かただ ゆら)

200m自由形 出場

3年5組 瀧内 海音(たきうち かいと)

400m自由形、400m個人メドレー 出場

1年7組 溝井 琉叶(みぞい るか)

100mバタフライ 出場

3年6組 梶原 帆里(かじわら ほのり)

200mバタフライ 出場

2年9組 林 碧葉(はやし あおば)

200m、400m自由形 出場

3年7組 清水 琉夏(しみず るか)

100m背泳ぎ 出場

2年5組 國定 海杜(くにさだ かいと)

100m自由形 出場

3年9組 小山 明咲(こやま みさき)

## 【ダンス部】

○第17回日本高校ダンス部選手権

スーパースタジアム 京滋・北陸大会

ビッグクラス 3位

○第14回全日本高等学校チームダンス選手権大会 関西予選

Team1ソロバトル 優勝

2年3組 熊谷 夏和(くまがい なつな)

## 【卓球部】

○第78回近畿高等学校卓球選手権大会

女子学校対抗 出場

○第78回近畿高等学校卓球選手権大会

女子ダブルス ベスト32

3年4組 和田 愛奈(わだ あいな)

3年5組 渡邊 莉子(わたなべ りこ) ペア

## 【硬式野球部】

令和6年度秋季京都府高等学校野球大会 第4位

第97回選抜高等学校野球大会21世紀杯京都府推薦校選出

## 【サッカー部】

第103回全国高校サッカー選手権大会京都大会 優秀選手

2年3組 外山 雄大(とやま ゆうだい)

**\*スマートフォン決済について\***

振込用紙に印字されたバーコードをアプリで読み取って、ご自宅から入金が可能です。

**決済手順について**

- ①スマートフォン等にスマートフォン決済アプリをインストールし、必要事項を登録します。(アプリで納付に必要な金額をチャージします。)
- ②アプリの請求書払いを選択し、振込用紙に印字されたバーコードを読み込みます。
- ③払込金額を確認し、支払手続きを行います。
- ④支払手続きが完了すると、支払完了画面が表示されます。



**ご利用いただけるスマートフォン決済アプリ**



※利用方法の詳細については、各アプリ事業者のHP等をご確認ください。

※コンビニエンスストア・スマートフォン決済からご入金いただく場合は、通信欄がご利用になれません。住所・氏名に訂正がある場合は、郵便局・ゆうちょ銀行をご利用いただくか事務局までご連絡ください。

※ご入金いただく際は、必ずお手元に届きましたご本人様の振込用紙を使用してください。

※スマートフォンアプリでの決済画面にてシステム代行会社「サラト」と表示されますが、「京三中・山城高同窓会」の会報発行協力金で間違いございません。

上記のコンビニ・スマートフォン決済につきましては、(株)サラトに委託しております。安心してご利用いただけますよう、よろしくお願い申し上げます。

**便利なスマートフォン決済を  
ぜひご利用ください**

いつも同窓会活動に関心をお寄せくださり、ありがとうございます。残念ながら前回は、経費を賄うことができませんでした。今後、物価上昇により、経費が増加する可能性があります。継続した会報発行のため、今回も温かいご支援・ご協力をお願い申し上げます。

■ 会報発行経費	2,770,000円
■ 前回納入率	5.42%
■ 超過額	0円

**編集後記**

同窓会報「双ヶ丘」第19号をお届けいたします。執筆や作品提供など、ご協力くださった皆さまには、厚く御礼を申し上げます。

例年、「双ヶ丘」の編集作業は、12月から年明けにかけて忙しさのピークを迎えますが、今年は選抜高校野球の出場校決定を待つて、原稿の書き直しや差し替えが必要となるため、ピークが1月下旬にずれ込み、まことに慌ただしくなりました。残念ながら、「21世紀枠」での選出は、補欠校1位という結果となりましたが、こういう夢のある忙しさは編集担当としても歓迎するところです。

次号以降も充実した内容でお届けできるよう、ユニークな活躍をしている同窓生、同窓生のお店など、ご存じの情報を、メール(Kyamashiro@yahoo.co.jp)までお寄せください。よろしくお願いたします。

**京三中・山城高同窓会報**

**「双ヶ丘」第19号 (非売品)**

2025年2月28日発行

京三中・山城高同窓会事務局

〒603-8335

京都市北区大将軍坂田町29

京都府立山城高等学校内

<https://yamashirokou-dou.sakura.ne.jp>

発行人 同窓会会長・堀場 厚  
編集人 山城28回・中村哲也

**京都府立第三中学校 校歌**

一 朝に仰ぐ秀嶺愛宕  
夕に掬ふ清流桂  
山河自然の靈氣を享けて  
集ふ双陵健児一千  
おお三中その名ぞ  
我らが誇り

二 誠実天の聖火とかかげ  
剛健地の威徳とたたへ  
崇文尚武ただ一途に  
競ふ姿の雄々しさ見よや  
おお三中その名ぞ  
我らがまもり

三 進取不断の光と恃み  
協同不壊の翼と張りて  
若き生命の日に新しく  
理想の空ゆく羽音を聴けや  
おお三中その名ぞ  
我らが力

四 歴史はにほふ古き都に  
繚乱誇る桜の徽章  
護りてとはに祖国の幸を  
拓かん我らが大きな使命  
おお三中その名ぞ  
我らがいのち

**京都府立山城高等学校 校歌**

一 双ヶ丘に鐘鳴りて  
流れさやけき桂川  
御室のさくら咲き匂ふ  
学びの家のたふとさよ  
正義真実責任の  
命みなぎるわれら山城

二 愛宕の峰に雲晴れて  
日かげさしそふ西の京  
嵯峨野をわたる風清き  
学びの園のめでたさよ  
平和協力友愛の  
光あまねきわれら山城